

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	25 滋賀県
市区町村名	25207守山市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
守山市	①学校運営 上の課題	02 社会に開 かれた教育課 程への対応	地域との連携は行われている が、地域と協働し、効果的に子 どもに関わるということには課 題がある。	・関係者による研修会の開催。 ・学校と地域の実情を話し合う機会の設 定。	・ボランティアと事業の理念や地域や子ども の実情については話す機会は多くなかった ため、関係者で話す機会を令和6年度より 多くする。	・事業の目標などを共有し、そ れぞれの立場で効果的に子ど もに関わることができようす る。	ボランティア参画の 回数。	90	回	100	105	・地域ボランティアや保護者等による、支援活動の幅の広が りやボランティアの参画回数の増加が一層進んだ。 ・各校において、地域学校協働活動でめざす子ども姿とそ ののための取組の具体化を進めたが、学校側のねらいや願 いがボランティア等に伝わっていない場合も見られる。 ・各校の取組が地域に十分には伝わっていない状況も見ら れる。各校における取組の焦点化を図る中で、本事業のね らいを地域と共有し協働して子どもを育てていく実践の積 み上げが重要である。	https://www.city.morivama.lg.jp/kanko_event_manabi/shougai/kushu/1002783/1008876.html
守山市	①学校運営 上の課題	01 教職員の 時間外勤務 の是正	市内の教員の44%超が、月 45時間以上の時間外勤務を 行っており、教員の業務負担 軽減による時間外勤務の縮減 が課題となっている。	・市内7公民館の職員が地域と学校をつな ぐ橋渡し役となり、全小中学校13校で地域 との協働体制の構築を進める	・地域、公民館、学校が事業の目的を話し 合い、それぞれの役割が明確になるよう にする。	・学校・家庭・地域の役割分担 の明確化により、地域との協働 が進み、結果として、教員の業 務負担が軽減する。	月45時間以上の時 間外勤務を行う教 員の割合	55	%	45	35	・各校の様々な工夫もあり、長時間の時間外勤務を行う教 員の割合は減少傾向にある。 ・地域学校協働活動の取組推進が、いくつかの学校におい ては業務負担軽減にもつながっているが、取組の開始から 間もないことから、全体としては大きな負担軽減とまでは 至っていない。各校の取組の参考となるよう、事例の共有を 一層図る必要がある。	https://www.city.morivama.lg.jp/kanko_event_manabi/shougai/kushu/1002783/1008876.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。